

平成7年度

統計数理研究所 公開講座案内



データをどのようにしてあつめるか、そのデータからどのようにして本質的な情報をとり出すか、その〈方法〉を探る科学が「統計数理」です。統計数理研究所は大学共同利用機関として統計数理の理論とその応用の研究を行うと共に、開かれた研究所として統計数理の方法の普及活動も行っています。

当研究所の統計教育・情報センターでは、研究者・学生・一般社会人を対象として、統計数理に関する公開講座を、以下の要領で開催いたします。どなたでも参加できます。

要論A 時系列解析の理論と実際

期 日 ●11月6日(月)～10日(金) 10時～16時 (1日5時間、合計25時間)
講 師 ●統計数理研究所 北川源四郎・石黒真木夫・尾崎統・川崎能典・樋口知之
申込受付 ●9月25日(月)～10月13日(金)
講習料 ●7,700円(税込) <受付を確認後、10月16日(月)～20日(金)の間に現金書留で納入>
受講定員 ●50名 (先着順)

要論B 意識調査データの統計的解析法

期 日 ●11月27日(月)～29日(水) 10時～16時 (1日5時間、合計15時間)
講 師 ●統計数理研究所 吉野諒三・坂元慶行・中村隆・馬場康維・釜野さおり
土屋隆裕・前田忠彦
申込受付 ●10月16日(月)～11月3日(金)
講習料 ●5,700円(税込) <受付を確認後、11月6日(月)～10日(金)の間に現金書留で納入>
受講定員 ●50名 (先着順)

特論 情報幾何

期 日 ●12月18日(月)～20日(水) 10時～16時 (合計15時間)
講 師 ●統計数理研究所 土谷隆・江口真透・駒木文保
東京大学 甘利 俊一
筑波大学 金野 秀敏
電気通信大学 長岡 浩司
大阪大学 藤原 彰夫
申込受付 ●11月6日(月)～24日(金)
講習料 ●5,700円(税込) <受付を確認後、11月27日(月)～12月1日(金)の間に現金書留で納入>
受講定員 ●50名 (先着順)

受講手続 ●別紙「申込書」(往復葉書形式)に必要事項を記入(返信用に宛先を明記し50円切手を貼付)の上、統計数理研究所公開講座係にお申込み下さい。●電話および直接持参による申込は受け付けません。●講習料は、返信葉書による「回答書」の送付を待って受付を確認された後、講習料納入期間中に納入して下さい。●「申込書」は1名1講座につき1枚です。さらに申込書用紙が必要な方は、その旨封書でお申し出下さい。その際は宛先を明記した80円切手貼付の返信用封筒(葉書に入る大きさで、定形23.5cm×12cm)を同封して下さい。
※受講証明、修了証の類は発行致しません。この講座は、個人参加を原則としていますので、会社宛の領収書等も発行致しません。また、都合上講座開講中の受講生への電話の取次ぎ等は御容赦下さい。



統計数理要論・特論

平成7年度公開講座

要論A 時系列解析の理論と実際

時間と共に不規則に変動する時系列データの解析は自然科学、工学、経済学、医学などの各分野で重要な課題となっています。

本講座では、定常時系列モデルと情報量規準AICにもとづく時系列の解析、予測、制御の方法の基礎を実際の応用例を紹介しながら説明します。さらに、非定常性や非線形性などを含むより複雑な時系列を解析するために最近開発された、ベイズモデル、状態空間モデル、非線形モデルなどにもとづく方法についても紹介します。

要論B 意識調査データの統計的解析法

この数年、東西ドイツの統一、ソ連の崩壊、EU統合など、後世の歴史に残るような急激な世界的变化が起きています。この力動的に変わりつつある世界の現状の一侧面を把握する実証的方法として、各国で「意識調査」が活用されています。

統計数理研究所では、数十年にわたり「日本人の国民性意識」の調査、国際比較などの数々の社会調査を遂行してきました。これに伴い、調査データを取り扱う数々の統計的手法が開発され、広く利用されているものもあります。このうち、林の数量化理論、CATDAP、Bayesianコウホート分析、計量心理学的モデル、一次元尺度構成、共分散構造分析等の多変量解析について、具体的にかつ平易に解説いたします。

特論 情報幾何

ここ十年来、統計的推論を始めとしたさまざまな情報処理の仕組みに内在する構造を幾何学的な立場から捉える新しい方法論「情報幾何学」が提唱され、情報理論、制御、Neural Network、量子推定、非線形系、最適化などの分野に広がりを見せています。本講座では、情報幾何学の入門、展望から最新の話題に至るまでを、大学学部上級から、大学院生、研究者レベルの方々を対象に講義したいと思います。

内容：総論と展望、情報幾何の基本概念、統計的推論の情報幾何、量子系の情報幾何、非線形確率システム及び非線形微分方程式の近似解への応用、最適化と情報幾何。

